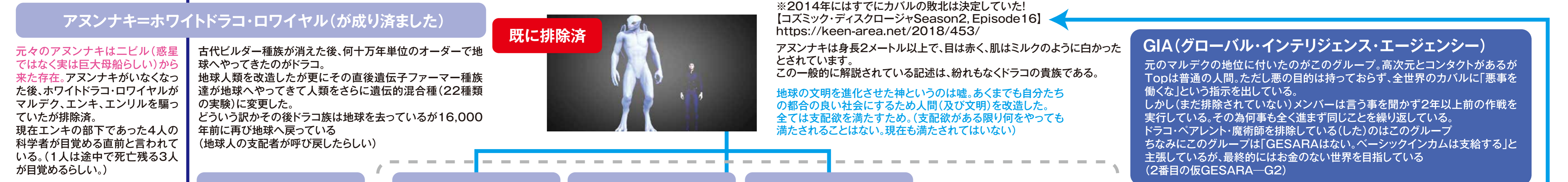
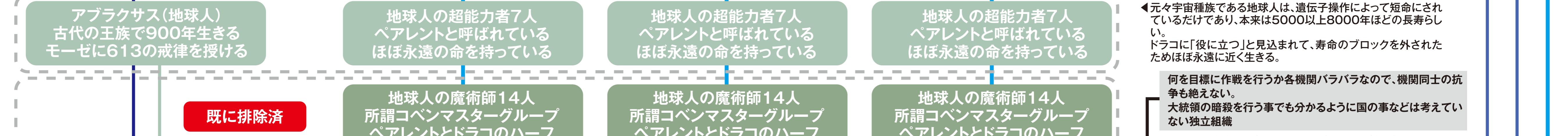


しかしながらその意識は地球の周辺に隠れて存在したまま(凍結状態)であり、現代でも多数発見される超先進的技術の地上及び太陽系内のあらゆるところへ残している。この技術は現在の最も先進的なETでも解析できない。この技術は現在の最も先進的なETでも解析できない。この技術は現在の最も先進的なETでも解析できない。



元々のアヌンナキはニビル(惑星ではなく実体巨大母船らしい)から来た存在。アヌンナキがいなくなった後、ホワイトドラコ・ロワイヤルがマルデク、エンキ、エンリルを騙っていたが排除済。現在エンキの部下であった4人の科学者が目覚める直前とされている。(1人は途中で死亡し残り3人が目覚めるらしい。)



アヌンナキ=ホワイトドラコ・ロワイヤル(が成り済みました) 既に排除済。アヌンナキは身長2メートル以上で、目は赤く、肌はミルクのように白かったとされています。この一筋の明瞭に記述されている記述は、紛れもなくドラコの貴族である。



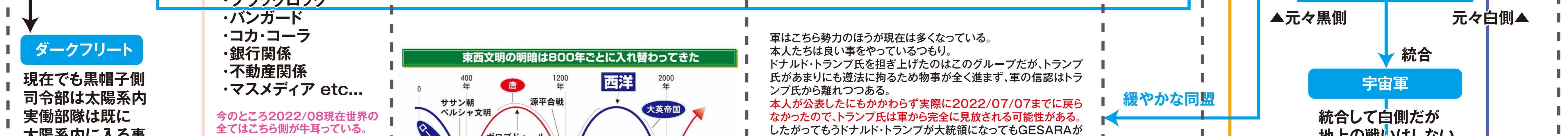
99%排除済(隠れて居るメンバーを発見次第排除中)。オウダー・オブ・ブラックサン、ハザール・マフィア、MI6、MI5、CIA、モサド。信奉している。このグループは元々銀河連邦の情報を伝えていたが、ある時頃にアジアドラゴンファミリー(=Qチーム)の権威に覆われている可能性がある。人々が高い(例:トランプを応援しよう)等、このチャートを見ればアジアドラゴンファミリーは正義の味方ではない(自認は自認)。



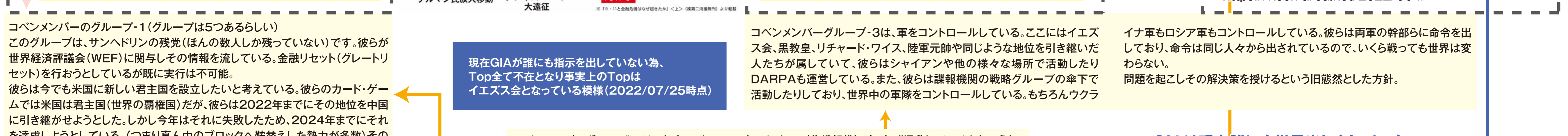
現在のカバルTopはたった一人の中国人女性メイワ(マー) 2022/08/03に排除済(実際の命令はたった一人の大将が全世界の政府へ「習近平平なのか?」)。このグループは元々銀河連邦の情報を伝えていたが、ある時頃にアジアドラゴンファミリー(=Qチーム)の権威に覆われている可能性がある。人々が高い(例:トランプを応援しよう)等、このチャートを見ればアジアドラゴンファミリーは正義の味方ではない(自認は自認)。



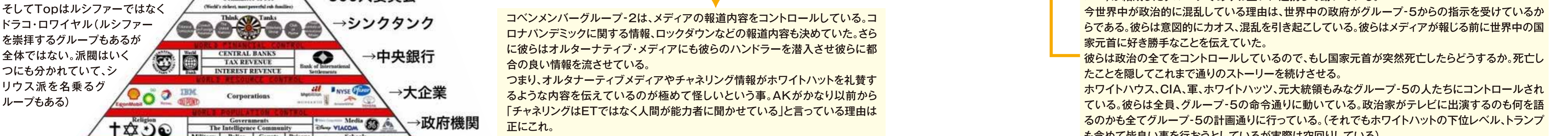
ICC(惑星間貿易複合企業体) Interplanetary Corporate Conglomerate。オリジナルのSSP。現在はやや白に近づいてきている。ダークフリート。現在でも黒帽子側司令部は太陽系内実働部隊に既に太陽系内に入る事が出来なくなった。NWO(G4)を目指している。力はほぼ残っていないが下っ端がまだまだ悪事を働いている。こちら側の軍も残っている。



SSP関連の軍。空軍のSSP、海軍のSSP。元々黒側、元々白側。統合。宇宙軍。統合して白側だが地上の戦いはしない。緩やかな同盟。2016年当時地球同盟とSSP同盟が現在より協力体制が整ってあり、カバルやドラコの排除がかなり進んでいた。地球同盟の逆襲-The Earth Alliance Strikes Back [season6, episode1] https://keen-area.net/2022/904/



このグループが言うGESARAは下から二番目(G3)であり、大金を配る。支配からの解放は約約束。実際はベージシットインカムと税金の分割還付。技術3点セット以外は公開未定。このグループが言うGESARAは下から二番目(G3)であり、大金を配る。支配からの解放は約約束。実際はベージシットインカムと税金の分割還付。技術3点セット以外は公開未定。



一般的に公開されているカバルのピラミッドはこちら。このチャートはこれとはかなり違う構造。300人委員会以上がコペンマスターやベアレントになっている。そしてTopはルシファーではなくドラコ・ロワイヤル(ルシファーを崇拜するグループもあるが全体ではない。派閥はいくつにも分かれていて、シリウス派を名乗るグループもある)。